こびとのおうちえんLetter 98”
2月号

令和5(2023)年2月3日発行　第142号

大王様の木に久しぶりにみんなで行くことに。隊長にたきとが手をあげた。あれ、どんどんちがう方へ行っちゃうけど…まっまかせてみる。他の子もだーっと走ってるし…。みらいは、「ここから入るんじゃなかったのかな…。」しばらくしてたきとに「どっから入る?」ときいたら「わからなくなった」と言う。ことが「それ、みんなに言った方がいいんじゃない?」たきとがみんなに伝えた。そして、このへんのどっからでも大王様の木に行けると思うけど、どうする?あかりが「ここから入ろう。」と言う。そして私もはじめてのとこを上がっていった。なかなかきもちのいい道だった。広いとこがあるとかほが「ここでおうち作るのもいいね。」ことは「あー、大王さまの木でおうちごっこしたいのに、山たんけんじゃん…」と口をとがらせている。かのんは見たことある小屋みつける。「ここ通ったことある!」うたは「ねえ、よっこ、うたちゃんね、山あるくのたのしい。山あるくのすきになった。」とごきげん。あ、私もここわかったぞ。もうすぐ大王さまの木だ!よかったねこと。おうちごっこできるぞ。ハプニングもすてきな!日を作る。

2月のスタッフプラン

・みつろうのろうそく作り(年長児)

28日(火) おべんとうの日

天神山へ行こう(防府市)
※おべんとうの準備をおねがいします。

2月のペアレンツグループ

22日(水) 13:00〜15:00
場所　もみじのいえ
内容　フィーリンググループ
自分のきもちにていねいにふれる時間。
メンバーのきもちを聴き合う時間
※参加される方は事前にご連絡下さいね。

1月はこんなことしました

- 大野八まん宮に初もうで
- 墓地づくり
- もちつき、もちまき
- おべんとうやさんごっこ
- ぜんざい作り
- 露天ぶろ
- 紙ヒコーキとばし
- ヒラタケとり
- 山たんけん
- 鼻長木を切る
- フキノトウとり
- フライドポテト作り
- 氷の作品づくり
- がびん山歩いて鼓ヶ浦であそぶ
- 神護寺〜箕山へのぼる
- 山の広場であそぶ(ソリすべり、たき火)
- 書き初め
- 琴石山登山(修験ルート)
- 雪あそび・白菜の漬けもの
- 七草がゆ(四草)づくり etc…

2/11(土・祝) おやこでおうちえんの日
9:30〜14:00　ご家族でどうぞ

参加人数、出欠等おしらせ下さいね。
詳細は、レター1月号でおしらせしたとおりです。
持ちものかくにん おねがいします。動きやすい汚れてもいい服装でおこし下さいね。たくさんあそびましょう。どんどやきをするので、しめかざりなどあれば持ってきて下さいね。

おたんじょうび おめでとう♪

12日　いしまる ひろのぶくん(6さい)
18日　たてばたけ かのんちゃん(6さい)

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

よしみさんのコーナー
「やりたい事」

先日87歳になる実家の父と電話で話した時のこと、「何かやらんと!(やりたい事を見つけたい)って思ってるけど、何かないかなあ、何がいいかなあー」って。すごいなあ この歳でまだ変化を求めてる。自営業で朝8時から夜8時過ぎまで働き、週1日の休みは、明日の準備の為に仕事場に行くというような生活を81歳まで続けていた父だけど、今の普段の生活は、今までゆっくり出来なかった反動なのか、ほぼテレビの前でゴロゴロしてるらしい。とはいえ、母と一緒に週に2日は黄色い旗持ちをし、近所の自然公園の手入れボランティアにも月に何日か出ていると聞いている。結構忙しそうだけど、何か新しい楽しい事をしたいと思って探しているという。

最近また、24歳の息子に、30ぐらいまでには「やりたい事」を見つけて、そこに向かって進んで行って欲しい。経済的にも自立して欲しいなあ(ほぼ出来てるんですが、時々ね…)なんて。裏を返せば、将来どうするの?という先行きの不安を勝手に抱えて、なんとなくモヤモヤしてたところだったのだけど、そんな父を知って気持ちがすっきりした。だって90歳を前にしても何かを探してるってことは、24歳で定まってなくてもいいんじゃない!!って。そう、モヤモヤは安定した生活をしていく事を求めてるのに、やりたい事も持っていて欲しい、という私の希望だったのだ。

息子も、決してただぼんやり生きてる訳じゃないのも知ってる。分かれ道に立った時、悩み考え道を選んでる。迷いながらもその時に、楽しい!やってみよう!と心が動く方を選びチャレンジしてる。そんな彼は、コンビニバイトから去年の9月に行きつけのラーメン屋の店長に誘われて就職。将来ラーメン屋さんになるの?なんて思ったりもしたけど、先のことじゃなくて今そうなんだ、という風に思うとしっくりくる。

考えてみれば「やりたい事」を見つける作業は、おうちえんのモーニングミーティングで日々繰り返している。とても難しいけど、シンプルだ。いま心が動く事をする。なんにもしたくない、考えつかない日もあるけどね。そしてやってみて案外違ってたり、ハマったり。小さい頃から繰り返し自分の心に思いを向ける。大人の私も同じで、日々自分に向き合っているけど、定まってないことに気づく!私もじゃん。偉そうに息子の心配してる場合じゃない。心も身体も変化していく中で、やりたい事も変化していくのを知っているのに、それでいいと思ってるのに、親の欲が時々顔を出して、必要のない期待をしてしまう。反省反省。ただ彼にとって、これからの長いであろう人生が楽しいものであればいいなと願うだけ。

岡部　吉美

よっこのおうちえん日誌 〜日々のあれこれ〜

朝のミーティングの場所を、今日はどこでする一?とこどもたちにふってみた。おにわがいいと言ったのがみらい含めての多数。梅の木の下がいいといったのがしょうま。下でやりたいと言ったのがたきと。もう少しつっこんで、そこでやりたいのはどうして?ときいたら、みらいが「今やってるたき火のそばでわになってすわりたい。」しょうまは「うめの木がすきだから。」各々の意見がでたところで、で、どうする? みんなしばらく無言になった。私は多数決で決めようとは思ってなかった。どうなるかな。口火を切ったのは、かいとだった。かいとは、「うたは下でやって、わけたいことのミーティングは、おにわでやる。」という案を出した。

→ナイス!! これは、私も思ってなかった。みんなにどうだろう?ときくと「いいよー」だった。ちがった意見が出たときどうしていくのか、ただ自分の意見を主張するだけでは前へすすめない。そのことを真剣に考えることができることにかんげきした。(何も、いつもどちらの意見もとり入れた方がよいということではない。)(1/12)

ふう　雪の道。
「ゆきのこえがするね。あるいたら、ぐっぐっていうね。」(1/25)

ゆづまが「かぼちゃんとれないい…(高すぎでとどかない)って言ったら、たきとが近づいて、とって「はい」と渡していた。
あーん たきと イケメン♡
次の日、よっこが木の根っこにつまづいて、ずっこけてたら、たきとが「はい」と手をさし出して、おこしてくれた。
たきと 今日もイケメン♡♡ (1/11、12)

おべんとうもって、神護寺〜箕山浴宮の森へ登る。ふうがよく泣いた。周りにいる子が見守る感じがいいなだめすかすではなく そのまんまうけとめてる。こどもたちはこどもたちで関わることを学んでいる。みらいの声のかけ方とかバッグー。出すぎずでも、あなたのことを心配してるよ、応援してるよが伝わるのだ。おうちえんの子の手のさしのべ方がすてき。手がつめたいと言ってかほやみらいが少し長めに手をつないでるかんじがきょりの近さをかんじる。途中から、山の中を行組

→と正規ルートに分かれる。山を行く組にたきと・ひろのぶ・ビーバー・ぎんつき・かいと プラス あかりも!! けっこうな急斜面ざらざら道をのぼってきたそう。正規ルート組の方もみらいが先頭を行き、さいごは「こっちいきたい。いけなかったらもどってくる。」といって斜面をのぼった。てっぺんにつくと さいごはトトロのトンネルみたいにうえこみの間をくぐって到着。ながめもよかった。全員が到着しておべんとう。たべおわったらけいどろ。ビーバー・ぎんつき・かいとは、よしみさんとおちばをあつめてブワーッとまいてあそぶ。よく歩いた――。行きかえりで、4時間歩いてる。(1/11)

ひろのぶがうたと2人で歩いたり、草の中にすわったりしていた。そして、私をみつけると「よっこ!春がきました!!」と言って走ってきた。「あおい花がさいてます。きて!!」オオイヌノフグリでひろのぶは春を感じている。(1/16)